



## 『今月の会長』

### 「フェンシングを通じて『ホンモノ』に触れてもらう」

現在日本フェンシング協会と、千葉県、そして千葉縣市川市の共催でフェンシング普及プロジェクトを行っています。

全校生徒の前で、競技説明、トップ選手の試合、生徒さんによる試合などを行っています。

この普及イベントにはオリンピックの機運醸成や、フェンシングの普及など、いろいろな側面がありますが、一番大切にしているのは、「生徒さんにホンモノに触れてもらう」ということです。

インターネットや、スマホが普及していく中、限れた人にしかホンモノにふれる機会がなくなってきました。

このイベントに参加してくれる子供たちには、フェンシングを通して「ホンモノ」に触れてもらう機会を作っています。

私がイベントを創っていく上で大切にしていることは、どこまで顧客の満足度を上げられるか、だと思っています。

今回のような普及イベントでは、「顧客＝小学生 or 中学生」に楽しんで貰えるかだと思っています。

結果、それが学校関係者、議会のみなさんにとっても満足頂ける結果になっています。

先日のイベントでは、訪問先の小学校の校長先生が、イベントで盛り上がる子供達を見て、感動のあまり涙されていました。

まさしく、私が最上位概念に掲げた感動体験の提供ができた瞬間だと思っています。

このイベントは、マニュアル化して、全国の皆さんにノウハウを提供いたします。ぜひ、全国の子供達に感動してもらいましょう！

全日本選手権大会もそうですが、選手、お客さん、運営が一体となって作り出す空気は、最高の感動体験になると信じています。

2020年に選手が最高の形で輝くように、溢れんばかりの声援で埋め尽くされた会場にしたいと思っています。